

# ちょっとした心くばりで 快適な暮らしに

下水道ができたからといって、何でも流していいということではありません。下水道は自然や皆さまの生活環境をよりよくするための公共の財産です。下水道に汚水を流すときには、十分に注意して、正しく使用しないと故障の原因となります。

## 水洗トイレにはトイレットペーパー以外のものは流さないようにしましょう。

水に溶けない紙や紙おむつ、タバコやガムなどを流すと詰まりの原因となります。

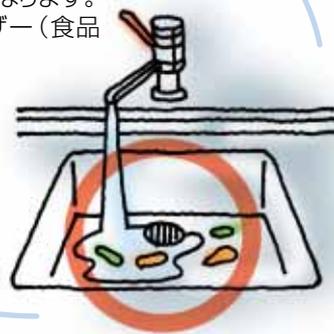
また、トイレで流れる水の量は、ご自分で調整しないでください。



## 台所では、野菜くずや残飯を流さないようにしましょう。

野菜くずやご飯の残りを流すと詰まりの原因となります。

特にディスポーザー（食品くず処理機）で細かくしても詰まりますので、ディスポーザーは使用しないようにしましょう。



## 排水管にはトラップを設置しましょう。

下水道管や排水管からの悪臭等を防ぐために、1器具に1個のトラップを設けましょう。



## 天ぷら油やサラダ油の廃油を流さないでください。

下水管内で石けんと油が化合して固まり詰まったり、処理場の機能を低下させます。



## 除害施設をつくりましょう。

水質基準以上の排水を流すおそれのある事業者は、事前に町と協議して、除害施設を設置してください。



## 下水道に有害物を流さないようにしてください。

ガソリン、シンナー、石油、アルコール類など揮発性の高い危険物を流すと、大爆発を起こす原因となります。

